

肝臓外科に通院中の患者さん又は通院歴のある方へ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の残余検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 肝・胆道癌における予後予測バイオマーカーの探索

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学 外科学講座 山本 栄和

《研究の目的》 肝・胆道癌の手術を受けられた患者さんの病理検体を用いて、腫瘍に関わる免疫環境を解析することで、予後や治療効果予測に有用な新規バイオマーカーの発見を目指す

《研究期間》 研究許可日～2027年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

肝・胆道癌の患者さんで、2006年1月から2022年3月末日の間に肝・胆道癌の手術を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：診断や治療のために摘出した組織（病理診断後の残余検体）

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、臨床病期・経過、手術関連情報などの臨床所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療反応性、予後など

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等には情報の加工処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学 外科学講座 講師 山本 栄和

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話 072-804-0101 (代表) FAX 072-804-2578